

刊行にあたって

8020 運動の広がりや高齢社会の到来と共に、歯科疾患の予防に関心が寄せられ、予防を業とする歯科衛生士にとって、またとない活躍の時代がやってきました。それは、歯科衛生士が自ら口腔だけにとどまらない広い視野でスキルアップを図ることを、強く期待されているともいえます。

歯科衛生士とは、《食べること》《話すこと》、即ち《生きる喜びを育て守ること》を職業とする専門家です。予防を専門とし、歯科医師と協力しながら子供からお年寄りまで多くの人を助け導くために、口腔をとおして人を「看る」、つまり全人的な視点を持って患者さんに寄り添うことを、求められています。

人生にはさまざまなステージがあります。そして、医療の原点は「人の死」にあります。生まれ出る期待、成長の喜び、自立の誇らしさ。そして、育てられる側から育てる側への転換。育てる愛おしさ、見守られる感謝、繰り返される“いのち”という時間。

このポケットブックは、「女性」というひとりの社会人の視点で、新生児から高齢者までの人生の各ステージに対応できるように作られています。今の自分とは違うステージを生きる患者さんの《こころ》と《からだ》について、素早く理解できるようにまとめました。

本書を手にとられた皆さんは、おそらく歯科衛生士として生きる、ひとりの女性。この、人生の一番輝けるステージに歯科衛生士という職業を選んだ皆さんと共に、私たちも一歩ずつ前進して参りたいと思います。

最後になりましたが、本書の上梓にあたりご尽力くださいました株式会社デンタルダイヤモンド社の後藤由紀様に、心より御礼申し上げます。

2012年3月
三木千津